

## 総論

# プレス・板金加工の安全対策

プレス安全環境支援事務所 中島次登\*

プレス機械による労働災害は、長期的に見ると減少となっているものの、休業4日以上の災害はプレス機械への「挟まれ」が452件発生し、その大半は後遺症を伴う重篤な災害となっている。近年、外国人の労働者がプレス加工業界にも多く就労されていることから外国人のプレス機械による被災数が増加傾向を示しており、その対策が課題となっている。

## プレス機械による労働災害発生とプレス稼働台数の推移

図1<sup>注1)</sup>はプレス機械による休業4日以上の労働

\* (なかしま つぎと) : 所長、労働安全コンサルタント  
〒277-0885 千葉県柏市西原2-10-11  
TEL: 04-7153-5363 FAX: 04-7153-5363

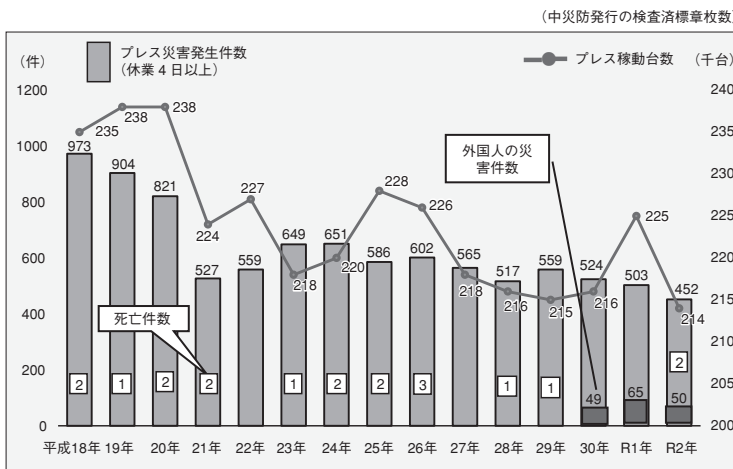


図1 プレス機械による災害発生件数  
出典：厚生労働省災害統計

災害の発生件数について、平成18年(2006年)から令和2年(2020年)までの15年間の推移を示している。この前半に973件から586件と40%減少していたが、後半には586件から令和2年には452件に約23%と減少幅が低下していることが見て取れる。

棒グラフの平成30年(2018年)～令和2年の下段に記載した数値は外国人のプレス機械による被災者数を表したもので、外国人労働者の被災比率は9.4%、12.9%、11.1%になっており、今後ともさらに増加するのではないかと危惧される。

折れ線グラフは、全国で使用されている動力プレス機械の稼働台数を表したものである。

動力プレス機械は、有資格者により1年以内ごとに1回定期自主検査を実施して検査済み標章をプレス機械に貼付することになっており、この標章の頒布数は21.4万枚(中央労働災害防止協会発行)となっている。

## 作業の種類別死傷者数と型別死傷者数

### 1. 作業の種類別死傷者数

プレス災害の作業の種類別死傷者数は、図2より製造作業が90.2%、保全作業(点検、保守管理)が6%、運搬・取り扱い

<sup>注1)</sup> 図1の平成28年の災害件数と図2、図5の災害件数の違いは出所が異なるため。